呉市立仁方中学校　学校だより

守破離

令和６年 10 月 10 日（木）第 18 号

学校朝会校長講話　ものの見方・考え方

～「フィルターバブル」から考える～

先週末は八岩華神社の祭礼が行われ、たくさんの人が参加したり、楽しんだりしたと思います。先週の生徒朝会では、西本先生が祭礼について、地域に伝わる大切な文化を中学生としての立場で楽しんだり、受け継いだりしてほしいと話されました。次の世代の一員として、「仁方」に関する様々なことについて考えることも大切だと思います。

さて、先々週の金曜日に、呉市立中学校英語暗唱大会へ出場する生徒のみなさんの発表を体育館で聞きました。その時、３年生の玉理　紫萌香さんが「フィルターバブル」というテーマで発表しました。今日は「フィルターバブル」に引き続き、「ものの見方や考え方」について話をします。

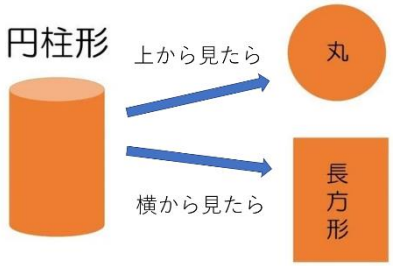
まず、「フィルターバブル」という言葉の意味を知っていますか？「自分と同じ考えや興味のある情報が『泡の壁』のように囲んでいて、『自分とは違う意見や情報が見えにくくなっている』状態」を言います。自分と同じ意見の人と接するのは心地よいですが、ＳＮＳの中では現実の世界よりも同じ意見の人が集まりやすく、反論する人を締め出すこともできて、異なる意見が見えなくなって「みんながそう言っている」かのような錯覚に陥ります。また、ネット上には、あらゆる情報があふれていて、その情報の中には正しくない情報やわざと間違えた悪質な情報も多く含まれています。正しい情報を選ぶ力が必要であるとともに、「フィルターバブル」の状態ではないかと疑うことも必要です。ネットやＳＮＳは使えば使うほど、自分の興味のある情報や記事が優先的に勝手に表れてきます。

これは「フィルタリング機能」などによって利用者の考え方に近い情報が優先的に表示されて、望まない情報は勝手に遠ざけられているのです。この結果、「フィルターバブル」の状態になるのです。自分の好みや価値観に合った情報が効率的に得られる一方で、視野が狭くなり異なる価値観や意見に触れる機会が減少するという問題点が現在大きく取り上げられています。

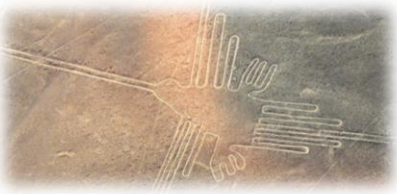
つまり、ＳＮＳなどを一方的に信じて、振り回されてはいけないということです。テレビでも、「決めつけ刑事（デカ）」というＣＭも流れています。

物事を見たり考えたりすることを「ものの見方・考え方」と言いますが、大切なことは、いろいろな角度から見ること、いろいろな立場から考えること、そして、総合的に考え、正しく判断する力を身に付ける必要があるということです。

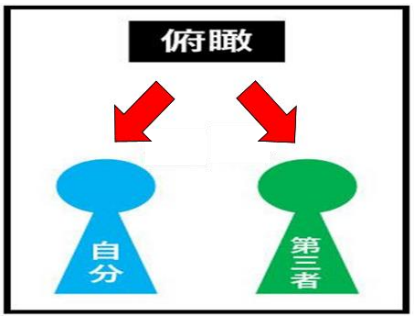
数学の授業で勉強しますが、円柱を上から見ると丸い形に見ます。横から見ると長方形に見えます。上や横からだけでなく斜めからも見たら、円柱とはっきり分かります。ですから、いろいろな角度から見ることが必要です。



また、時には高い場所から俯瞰的に見ることも必要です。ペルーにある「ナスカの地上図」は砂漠に書かれているのですが、地上に居ては何が書かれているかは全く分かりません。飛行機に乗って、上空から見てやっと全体が分かります。



今の場所よりも高い位置に立って、物事を見ることを「俯瞰」すると言いますが、これは自分自身の言動を振り返るときにも必要です。自分と他人との人間関係を俯瞰しながら考えることは、良好な人間関係を維持するためには必要です。



今日の話のポイントは、「ＳＮＳなどを一方的に信じて、振り回されない。」「いろいろな角度から見て、いろいろな立場から考え総合的に正しく判断する。」「高い位置に立って、俯瞰しながら考える。」です。このように「ものの見方や考え方」を多面的・多角的、そして、総合的に正しく判断する力を身に付けて欲しいと願っています。

不断の努力

第４３回呉市立中学校英語暗唱大会

暗唱部門	１年生の部	第３位	谷本	有澄娃
			西中	和奏
暗唱部門	３年生の部	第３位	北井	雄真
スピーチ部門	一般生徒の部	第１位	玉理	紫萌香

今年度は第 32 回広島県中学校英語暗唱・弁論大会が 12 月７日（土）呉市広まちづくりセンターで開催されるため、暗唱部門は第３位まで県大会に出場できます。